



元々は自動車の整備屋さんで、90年代にCadamuro Designとしてパーツもプロデュースするようになった。今も修理や点検、レースメンテなどの業務も行っ



立派な塗装ブースも完備しているので、外部に委託することなく、すべてファクトリー内で業務を賅える



デザインから製造、販売までを担う イタリア生まれのエアロブランド

1 975年にカダムーロ・セルジオが設立した「Cadamuro」。当初は自動車整備工場として、そして80年代に入ると部品などを取り扱うようになった。エアロパーツのメーカー「Cadamuro Design」となったのは97年で、FIATウーノやクーペの、フェラーリF50風ボンネットがヒットしたのを皮切りにボディパーツをプロデュースするようになり、現在まで50車種以上を手がけているそうだが、やはりメインとなっているのはアバルト系のクルマだという。若かりし頃のセルジオが、チンクエチエントのジャンニーニ仕様を所有していたことから、チンクへの造詣も深い。



「Cadamuro」をイタリア語でもじって、「Ca」(家)「muro」(壁)という単語に分けて、ブランドのイニシャルマークをデザイン。このあたりのセンスもナイス!

左が取材に対応してくれたAlessio、中央が父であり創業者のSergio、右も叔父さんだそうで、Cadamuro Designはファミリーでの運営が中心



OZホイールとの関係性も強く、デモカーなどはすべてOZのホイールをチョイスしているそう。お店にはディスプレイも置いてあった

現行FIAT500、アバルト595系もオーバーフェンダーまで含め、充実のラインアップを誇る。エアロパーツのデザインからFRPの成型、製造、販売までを一括で担っており、ファクトリー内には塗装ブースやFRP工場も備えている。現在は息子のアレッシオがデザインやプロデュースを任されており、ファミリー総出でCadamuro Designを運営。実はイタリアには、こうしたアフターパーツ用のエアロメーカーは少なく、貴重な存在。なお、「日本でもCadamuroのエアロパーツが欲しい!」という方は、OZジャパンでも輸入が可能ということで、直接問い合わせさせてみよう。



ピットには作業中の車両もいっぱい入庫していた。イタリアでは珍しい、ドリフト仕様のクルマも発見!

Cadamuro Design/ABARTH695 Biposto Replica



あの695 Bipostoのルックを再現したというCadamuro Designのアバルト用パーツ。フロントバンパー、オーバーフェンダー、リアのバンパー&カーボンディフューザー、エアダクト付きのボンネットなどでボディ全体を大胆にモディファイ。雨水の侵入にも配慮したという、エンジンルームのエアアウトレットもオリジナル品。なおデモカーは260psiほどにパワーアップされているそうだ。ホイールはOZのラリーレーシングを装着する。



FRP製品を作り出すための「型」を保管しているスペースがケタ違いに大きい。エアロパーツの種類が増えるほどに、型も増えていく



ちょうどアバルト500系のバンパーやフェンダーが製品化されているところ。ベースの型から抜き取った状態だ



ファイバーの成型も、併設の工場で行なっている。現場を見せてもらったが、このあたりは日本のFRP工場と同じ雰囲気だった



地元トリノのカーショップに聞く 「どんなホイールが支持される？」

イタリアの国旗を模した装飾が施された看板の下、店員が車を案内している様子。店内には様々な車種が展示されており、顧客が試乗している様子も確認できる。

「OZ Paddock Store」となっており、たくさんのOZ製品を在庫している。OZ以外にファッション的なMSWのホイールも人気があるそう。

「OZ Paddock Store」となっており、たくさんのOZ製品を在庫している。OZ以外にファッション的なMSWのホイールも人気があるそう。

「OZ Paddock Store」となっており、たくさんのOZ製品を在庫している。OZ以外にファッション的なMSWのホイールも人気があるそう。



AUTOBOX Rivalta Matteo 氏
取材班を案内してくれたマテオ氏。アバルトのお客さんも多いそうだ。個人的にオススメのモデルは「ウルトラレジュエラ」だという



AUTOBOXのデモカーとなっているアバルト595は、前置きインタークーラー、タービンチューン、吸排気などもトータルで仕上げて、かなりパワーがありそう。チョイスしたホイールは「OZレジェンダ」の17インチで、ライトブルーのボディと相性がいい



こちらの595Cツーリスモは、アバルトクラブ・トリノのFABIO BETTARELLOさんがオーナー。ホイールは「OZウルトラレジュエラ」の17インチ



「OZ Paddock Store」となっており、たくさんのOZ製品を在庫している。OZ以外にファッション的なMSWのホイールも人気があるそう



店内のラックは、日本のカーショップでも見慣れた雰囲気。アバルトのステッカーがこんなに豊富なのは、さすが本場！ピットスペースは地下のフロアに。これなら風雨にさらされることなく、快適に作業できそう